

令和6年度地域課題解決共創事業「0ne+」 特定テーマ申請書

希 望 テ ー マ 名	若年層の孤独・孤立～現状把握と向き合い方の検討～
テ ー マ 要 旨 (課題の概要)	コロナ禍で深刻化した問題がさらに深まる懸念があるとして、令和6年4月に施行された孤独・孤立対策推進法に基づき、盛岡市における孤独・孤立対策を推進する必要がある。高齢者の4人に1人が社会的孤立を経験しているとされる中で、高齢者だけでなく、子どもや若者、働きざかりの中年層まで、老若男女問わず、孤独感や社会的孤立は、鬱などの精神的健康問題のみならず、認知症や脳卒中といった病気の上昇につながるほか、社会的活動への参加減少や自殺といった社会全体に影響を及ぼす問題となっている。特に、若年層での孤独・孤立に関する問題は、長期間にわたり、かつ様々な問題が複雑化する可能性があるため、解決を目指す必要がある。 現時点で、内閣官房が「人々のつながりに関する基礎調査」を行っているデータはあるものの、盛岡市に特化した、「孤独・孤立」に関する統計データは存在しないことから、本事業を通じて、盛岡市内の若年層の孤独・孤立に関する最新の状況把握を行う。 孤独を感じる要因は、複数の分野にわたっていることも考えられる。一人暮らしや病気等といった外形的な部分だけにスポットをあてずに、表面的には見えにくい孤独をどのようにすくい取れるかを調査する必要があると、調査結果に基づき、適切な孤独・孤立との向き合い方や支援施策の方向性及び効果的な取組を検討する。
期 待 す る 効 果	盛岡市内における若年層の孤独・孤立の状況の調査を行い的確に把握することで、エビデンスに基づく孤独、孤立との向き合い方（解消方法や前向きに楽しむ方法）を考えるとともに、より適切な支援に向けた効果的な施策の立案やアプローチ方法を検討する。このことにより、孤独・孤立対策における「盛岡モデル」の実現に寄与する。
担 当 所 属	保健福祉部地域福祉課
担 当 者 氏 名	金澤 千種、小原 勝博
連 絡 先 電 話 番 号	内線 2523
E - m a i l	tiikifukusi@city.morioka.iwate.jp
協 力 内 容	採択となった場合に、学生団体等に対して協力可能な内容がございましたらご記載ください。 当該事業で調査した内容については、本人同意を得ていない個人情報を除き、卒業研究等に活かしていただくことが可能です。
そ の 他	質問事項や相談等について自由にご記載ください。